

自律の気概あふれる まちをめざして

～ この町に誇りと愛着を持って
皆さんの知恵を行動に ～

企画振興課 ☎526552 有線⑤8963

あらゆる場面での対話により 地域課題の共有を

パネルディスカッションでは、7人のパネリストにより、各団体の現状や課題、個人的な取り組みを通じて今後の自律のまちづくりの取り組み方等について、意見交換がされました。

区長会長の堀江さんは、「自律のまちづくりでは、自らが自発的に行動を起こさなければならぬ。そのために地域力をつけることが大切だ」と発言されました。

商工会長の岸村さんは、「日野町は、全国的に見ても恵まれた条件がたくさん

11月8日（火）日野公民館ホールで「自律のまちづくり住民シンポジウム」を開催しました。最初に町長から自律のまちづくり計画策定への思いを参加者の皆さんにお伝えしました。続いて住民懇話会の助言者として参画いただいた滋賀大学の宗野隆俊助教から、国と地方の状況、全国的な流れの中で、日野町に求められる新しい社会観について、また住民と行政の協働についてご講演いただきました。

これを受けて「これからの日野町のまちづくり」と題したパネルディスカッションが行われました。会場からの発言もあり、活発に意見交換されました。

会場は、250人を超える参加者で埋めつくされ、参加者は自分たちの住むまちの今後のあり方について、熱心に耳を傾けられました。

ある。そのような中でこれからの地域振興は、金儲けだけでなく、心との両立が大切。地域の特産品づくりは、良質というだけでなく、ブランド化し、全国に通用することが大切だ」と話されました。

地域女性団体の山さんは、「家庭や地域において生活者の視点で、ごみの減量化や資源を大切にする取り組みや、在宅介護についての学習会などの活動が自律につながっていくのでは」と話されました。

連合青年会長の福永さんからは、「子どもたちが自分たちの世代になったときに同じ議論をしていたのではダメ。次の世代につなげるために、年代を超えてかわりを持つ中で、若者の意見も出せる場所が必要だ」と提案がありました。

住民懇話会座長の寺澤さんは、「日野町には七つの地域で公民館単位の活動を通じて確立している。また村組織が残っている。そういう活動をきちっとやっていくことが自律のまちづくりである」と話されました。



の再生をめざして...!

の力は 町の貴重な資源です。



「自律のまちづくり計画」を
12月中に策定します。

町長は、「日野町には役場が言わなくても地域で自らが取り組む土壌がある。そういう地域共同体の再生が大切であり、人は、集団の中で自らの役割を果たすことで、存在感が見えてくる。これまで培ってきた暮らし、行政をどう維持していくのがこれからの課題であり、行政は徹底した行政改革と情報公開をし、住民と行政が共に歩んでいく町をめざす」と話しました。

う地域を残すのか。私たち大人がいろいろな場所でもっと議論する機会を持つ大切さと、議論をすることで地域の様々な課題を共有し、それを解決することの大切さを強調されました。

今後、町では、11月中旬に皆さんからお寄せいただいたご意見をまとめ、12月に「日野町自律のまちづくり計画」をつくっていきます。

◇参加者の感想から◇

- *まちづくりの中心である、子育てと教育について、学校・幼稚園・保育所・学童保育所などが課題を共有し地域で何が起きているのか、みんな手を携え協働の取り組みをする必要がある。
- *このシンポジウムを起点として、まちの課題をもう少し掘り下げて将来像を創りあげるべきである。
- *若者が自分の子どもの未来を見据えた発言をされたことに感動しました。
- *教師や親が子どもについて考え、話し合う姿を子ども達が見ることで、子ども心に残るのではないかな。
- *問われるのは、私自身だということ、私も感じましたし、皆さんも感じられたのではないかなと思います。
- *自分にできることは自分です、そのことに生きがいを見出すことが大切。
- *学校・家庭・地域で何ができるかを考えて、行政の力が必要という部分を見極めることが大切。

Ⅱ パネルディスカッション Ⅱ
コーディネーター

宗野 隆 俊さん
(滋賀大学経済学部助教授)

パネリスト

堀 江 勇 夫さん
(日野町区長会長会代表)

岸 村 嘉 平さん
(日野町商工会長)

山 和 美さん
(日野町地域女性団体連合会会長)

福 永 晃 仁さん
(日野町連合青年会会長)

寺 澤 清 穂さん
(自律のまちづくり住民懇話会座長)

藤 澤 直 広
(日野町長)



一人ひとりが輝く地域共同体

豊かな自然と歴史、伝統、住民自治